

2 ポート
USB KVM スイッチ
ユーザーズマニュアル

目次

I.	はじめに.....	3
1.	機能.....	3
2.	梱包の内容	3
II.	仕様	4
1.	全般.....	4
2.	コネクタ	5
3.	LED インジケータ	6
3.1	ホストインジケータ	6
3.2	USB ダウンストリームポートインジケータ	6
III.	2 ポート USB KVM スイッチの取り付け.....	7
1.	システム要件:	7
2.	ハードウェアの取り付け:.....	8
3.	Window 98/SE の取り付け:.....	9
4.	ドライバのインストール	10
5.	Windows の場合のオンスクリーンディスプレイ(OSD)ユーティリティソフトウェアインストール	15
6.	OSD プログラムを使用する	18
6.1	OSD プログラムをアクティブにする.....	18
6.2	OSD ウィンドウを説明する.....	19
6.3	OSD プログラムを使用してアクティブなホストを切り替える.....	20
6.4	OSD プログラムを非表示にして閉じる	21
IV.	2 ポート USB KVM スイッチを操作する.....	22
1.	プッシュボタンによる手動切り替え	22
2.	ホットキースイッチ(PS/2 キーボードのみ、USB キーボードでは使用できません)	22
3.	オンスクリーンディスプレイ(OSD)スイッチ(Windows のみ).....	22
V.	アプリケーションノート	24

USB Pocket KVM

I. はじめに

2ポート USB KVM Switch.をお選びいただきましてありがとうございます。本製品を PS/2 キーボードやマウスポート、3 ダウンストリーム USB ポート、2 アップストリーム USB ポート、3VGA ポートと組み合わせることにより、1 台のモニター、1つのキーボード、1つのマウスで2 台のコンピュータを操作し、KVM に接続された USB デバイスを共有することができます。

1. 機能

- 1つの PS/2 キーボード(または USB キーボード)、および 1 台のモニターで 2 台の PC をコントロール。
- Windows、Linux、Mac OS9/OSX、Sun Micro Solaris 8 をサポート
- USB対応し PS/2 キーボードやマウス変換をサポートし、キーボードとマウスケーブルセットが不要。
- 3つの USB ダウンストリームポートのサポート(USB スキャナ、USB プリンタ、USB CD-RW などの共有に最適)
- 3つのタイプの切り替えのサポート: ハードウェアプッシュボタン、PS2 キーボード上のホットキー、オンスクリーンディスプレイ(OSD) ユーティリティソフトウェア(Windows 専用)。
- OSD ユーティリティは以下を表示:
 - i. 接続されたコンピュータの電源ステータス。
 - ii. アクティブなホストコンピュータ。
- 2048x1536 までの VGA 解像度のサポート。
- プラグアンドプレイ。PS/2 マウスとキーボードを操作するためのソフトウェアドライバは不要。

2. 梱包の内容

お買い上げいただいた製品には、以下のような装置と付属品が含まれています。

- 2 ポート USB KVM スイッチ。
- ユーザーマニュアル、オンスクリーンディスプレイ(OSD)ユーティリティ、USB ツールユーティリティソフトウェアを組み込んだ CD。
- 2 セットの USB+VGA ケーブル(モデル KC-121-C2 のみ)

II. 仕様

1. 全般

モデル	KC-121, KC-121-C2
準拠 USB リビジョン	USB 1.0, 1.1
動作している PC ステータス LED	2
USB アップストリームポート	2
VGA インポート	2
VGA アウトポート	1
USB ダウンストリームポート	3
USB 過電流 LED インジケータ	3
PS/2 キーボードポート	1
PS/2 マウスポート	1
ビデオ解像度	2048 X 1536 最大 1920x1440
ハードウェア準拠	PC/Mac/Sun Micro
サポートする OS	Windows 98/98SE/ME/2000/XP Mac OS9/OSX、Solaris 8 (SUN BLADE 100)、Linux Kernel 2.3 以降
アクティブ PC 選択 (スマート自動検出)	プッシュボタンによる ホットキーによる (PS/2 キーボードのみ) OSD ユーティリティによる (Windows のみ)

2. コネクタ

- PS/2 キーボード用 1 つのミニ-din
- PS/2 マウス用 1 つのミニ-din
- 3 つの USB A ダウンストリームコネクタ
- 2 つの USB タイプ B アップストリームコネクタ
- 2 つの VGA 入力コネクタ(HDB15 メス)、および 1 つの VGA 出力コネクタ(DB15 オス)。



正面ビュー



背面ビュー

3. LED インジケータ

3.1 ホストインジケータ

オフ: ホスト PC が接続されていない、または PC 電源がオフになっている。

赤: ホスト PC が利用可能でアクティブになっているとき。

3.2 USB ダウンストリームポートインジケータ

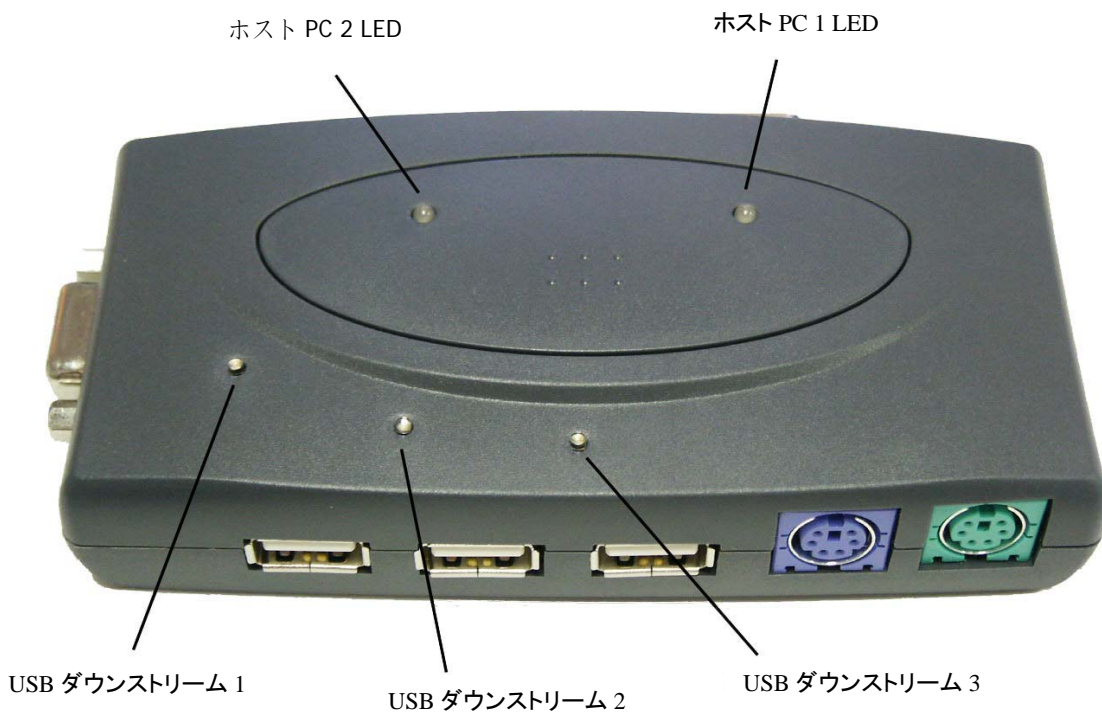
各 USB ダウンストリームポート用 1 つの LED:

オフ: USB ポートは、USB デバイス接続の準備ができていません。

オン (緑): USB ポートは、USB デバイス接続の準備ができています。

注:

一部の USB ダウンストリームポートに対して過電流状態が発生した場合、対応する USB インジケータはオフになって、このポートが現在動作していないことを示します。過電流状態が解決されると、USB インジケータは再びオンになります。



III. 2ポート USB KVM スイッチの取り付け

1. システム要件:

- **コンピュータ:** USB ポート、VGA ポート
- **オペレーティングシステム:** Windows 98/98SE/2000/ME/XP, Mac OS9/OSX, Solaris 8 (SUN BLADE 100), Linux Kernel 2.3 以降
- **VGA ケーブル:** コンピュータごとに 1 つの VGA オス対オスケーブル
- **USB ケーブル:** コンピュータごとに、タイプ A 端末とタイプ B 端末を組み込んだ 1 つの USB ケーブル

2. ハードウェアの取り付け:

- a. USB ケーブルのタイプ A の端をコンピュータの USB ポートに、ケーブルのタイプ B の端を USB Pocket KVM の USB アップストリーム 1 に接続します。
- b. コンピュータのビデオカードの VGA ポートと USB Pocket KVM の VGA in 1 の間に VGA オス対オスケーブルを接続します。
- c. 2 台目のコンピュータについても、KVM の PC2 USB ポートとモニタ入力を使用して、ステップ a-b を繰り返します。
- d. モニタ VGA ケーブルを KVM のモニタ出力ポートに接続します。
- e. PS/2 キーボードとマウスを KVM の PS/2 ポートに、または USB キーボードとマウスを KVM の USB ダウンストリームポートに接続します (Windows 98/SE を除く)。
- f. Windows 98/SE のユーザーの場合、次章に進んで取り付けを行ってください。
- g. コンピュータの電源をオンにし、USB ポートが有効になっており正常に動作していることを確認します。



正面ビュー



背面ビュー

3. Window 98/SE の取り付け:

Window 98 and 98/SE システムのユーザーの場合、異なるステップの取り付けが必要です。以下のステップに従って KVM スイッチを取り付けてください。

ステップ 1 : USB KVM スイッチから PS2 マウスとキーボードデバイスを取り外し、PC に差し込んでください。

ステップ 2 : PC の電源をオンにします。

ステップ 3 : USB KVM スイッチのプッシュボタンを使用して、Windows 98/SE システムを搭載したターゲット PC に画面を切り替えます。

ステップ 4 : 4.ドライバインストールの章に従って、ドライバインストールを終了します。

ステップ 5 : PC から PS2 マウスとキーボードを取り外し、USB KVM スイッチを差し込みます。

4. ドライバのインストール

4.1 ドライバのインストールを必要としない OS

2 ポート USB KVM スイッチは、次のオペレーティングシステム用にインストールされたドライバを必要としません。

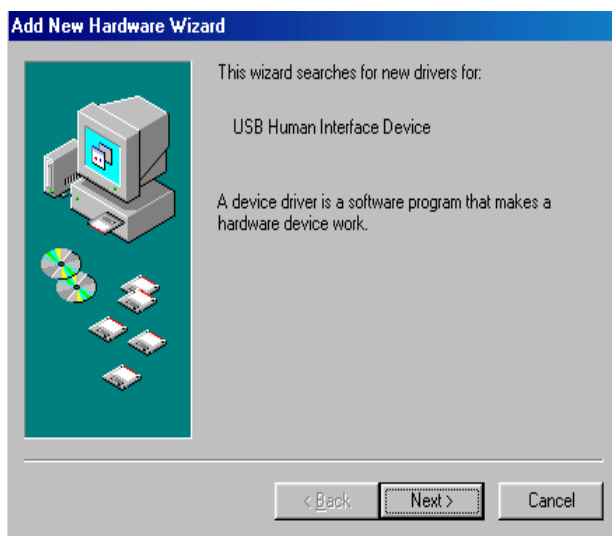
- a. Windows 2000/ME/XP
- b. MAC OS9/OSX
- c. Linux Kernel 2.3 以降
- d. Sun Micro Solaris 8

4.2 Windows 98/98SE:

2 ポート USB KVM スイッチを PC に接続した後、Win 98 はデバイスを自動的に検出し、ドライバのインストールを要求します。

ステップ A-H の指示に従って、USB Pocket KVM をインストールしてください。Windows 98 CD の準備をしてください。

ステップ A



“次へ”をクリックして続行します

ステップ B



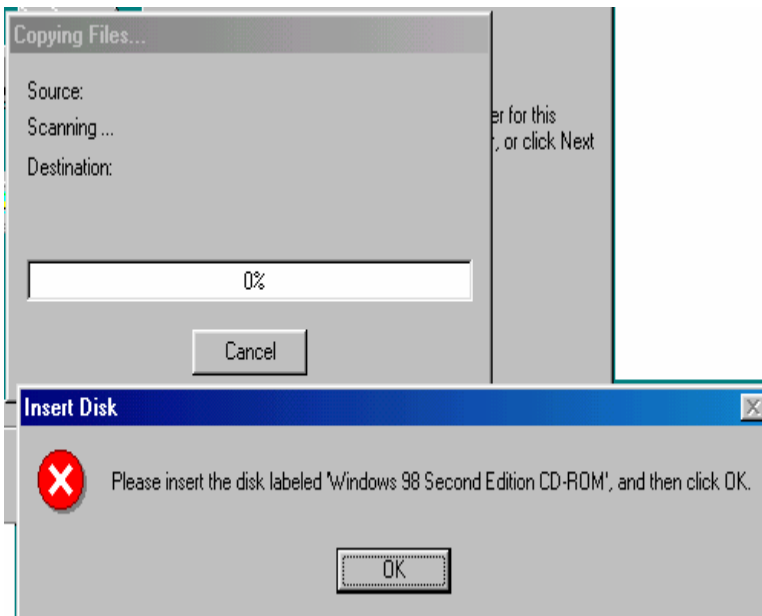
B. “次へ”をクリックして、デバイスに最適のドライバの検索を開始します。

ステップ C



C. “次へ”をクリックして検索を開始します。

ステップ D



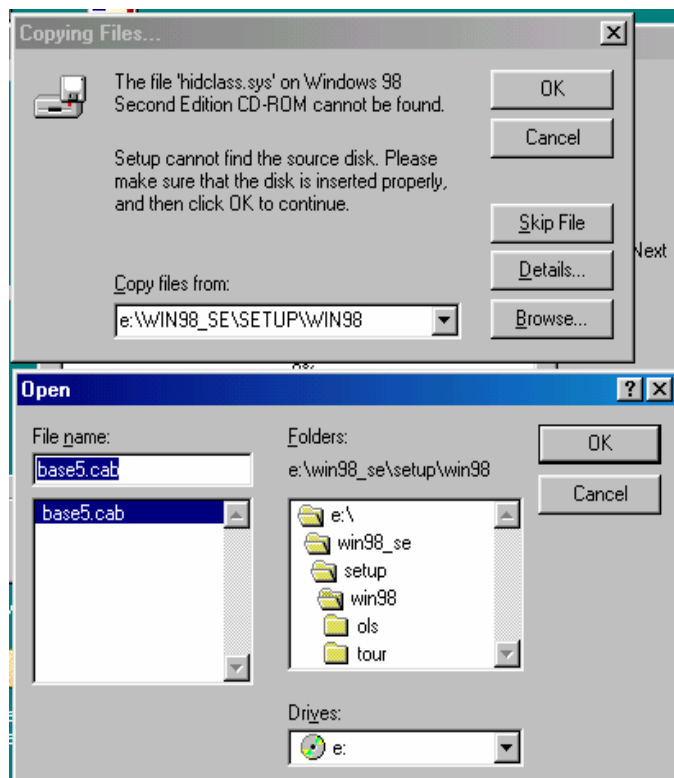
D. “OK”をクリックして続行します

ステップ E



E. “次へ”をクリックして続行します

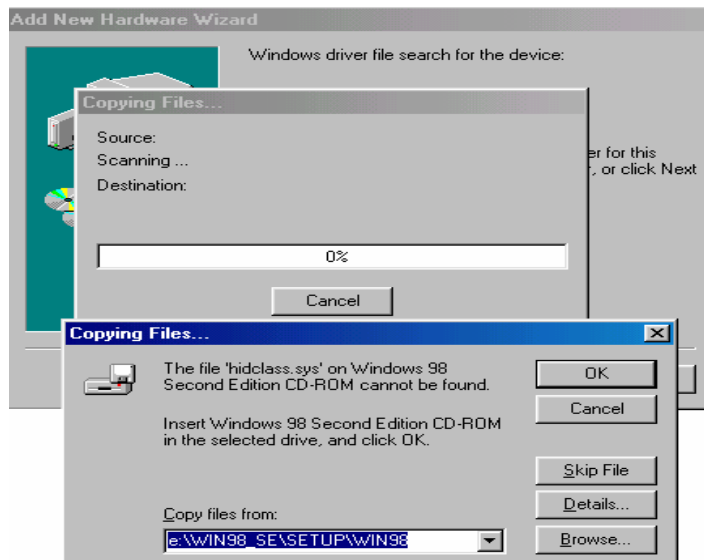
ステップ F



F. Windows のソースディスクの場所を指定し、“OK”をクリックして続行してください。
参照を使用する必要があるかもしれません。ドライバを見つけるには、(図 F を参照してください)
(図 F 参照)

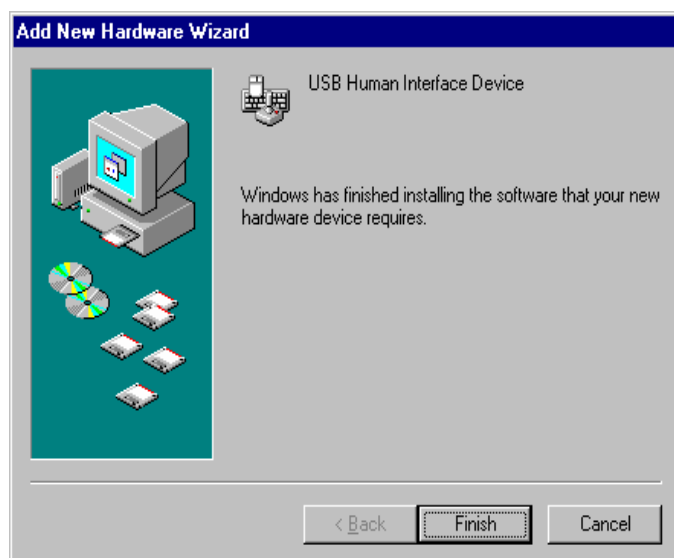
*注: hidclass.sys ファイルは、上の図とは異なるディレクトリに置かれていることもあります。

ステップ G



G “OK”をクリックして続行します

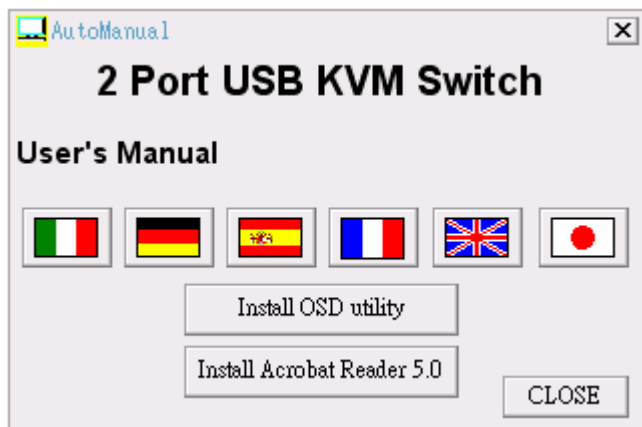
ステップ H



H. “終了”をクリックすると、Windows は PS/2 キーボードとマウスの USB Human Interface デバイスドライバのインストールを完了します。

5. Windows の場合のオンスクリーンディスプレイ(OSD)ユーティリティソフトウェアインストール

AutoManual 画面が表示されなければ、ファイルエクスプローラを使用して CDROM ドライブを選択し、AutoManual.exe を実行してください。



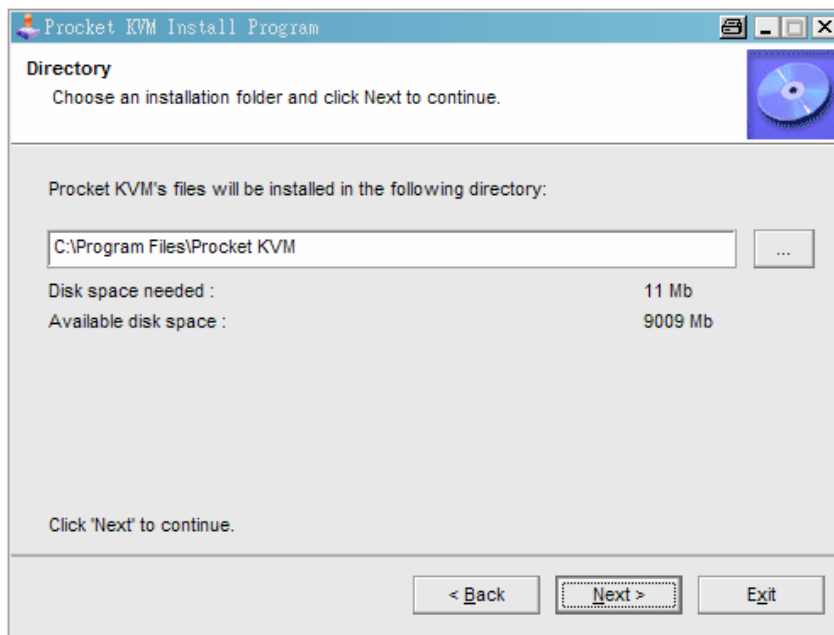
“OSD ユーティリティのインストール”のボタンをクリックします。

ステップ A



A. CD で OSD2Port.exe を実行します。

ステップ B



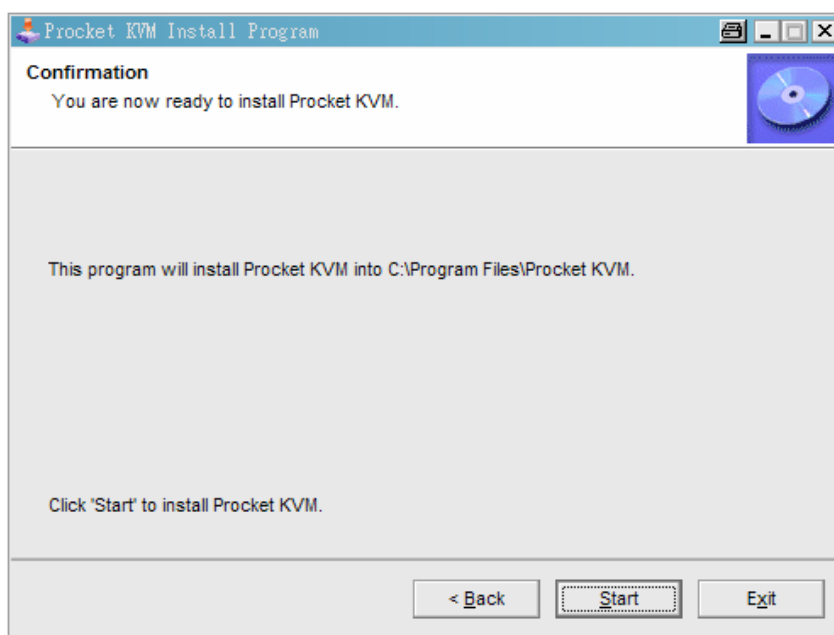
B. “次へ”をクリックして続行します。

ステップ C



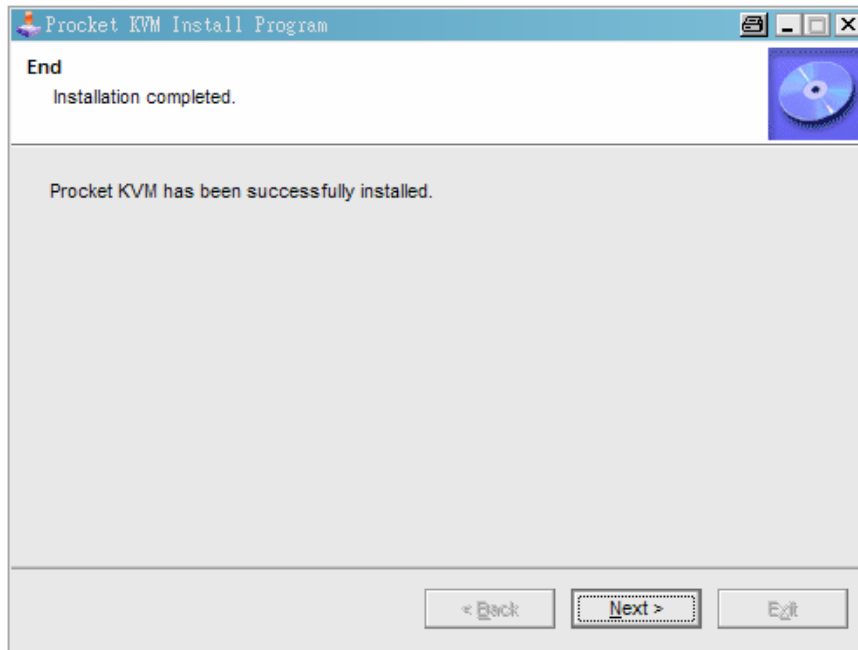
C. “はい” をクリックして続行します。

ステップ D



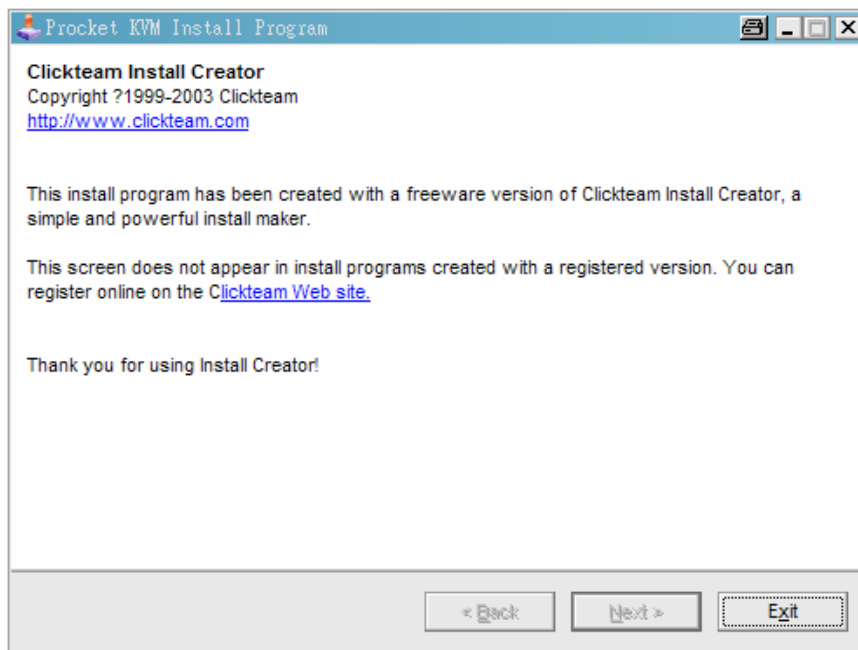
D. “スタート” をクリックして続行します。

ステップ E



E. Click “次へ” をクリックして続行します

ステップ F

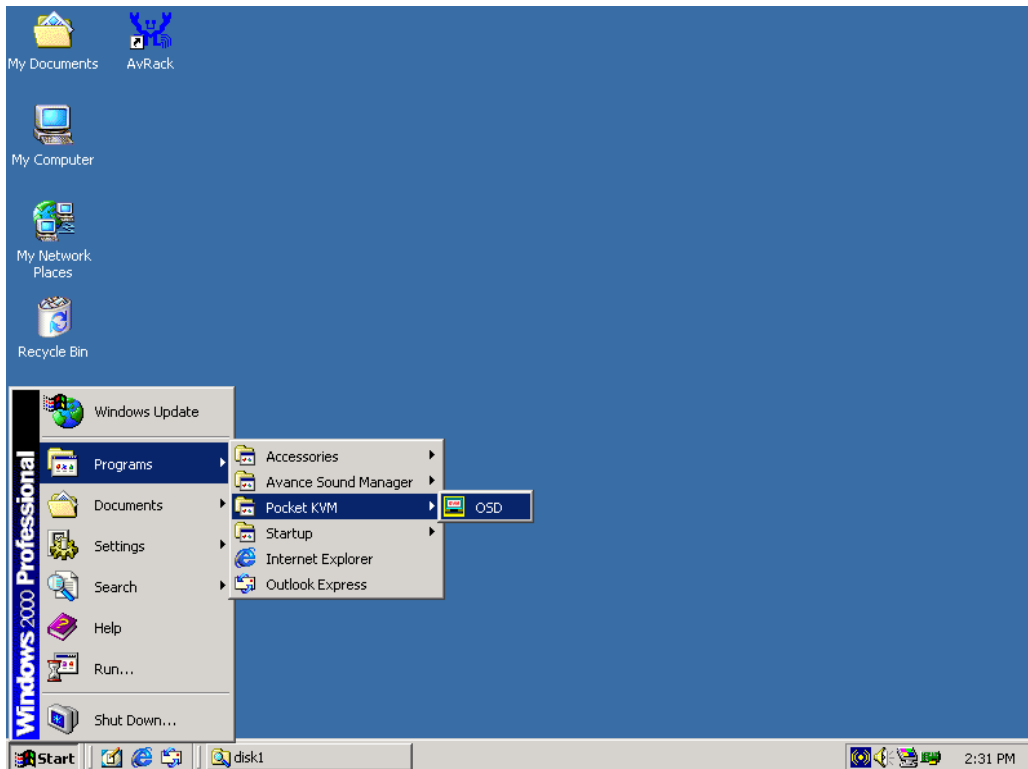


F. “終了”をクリックしてセットアップを完了します。

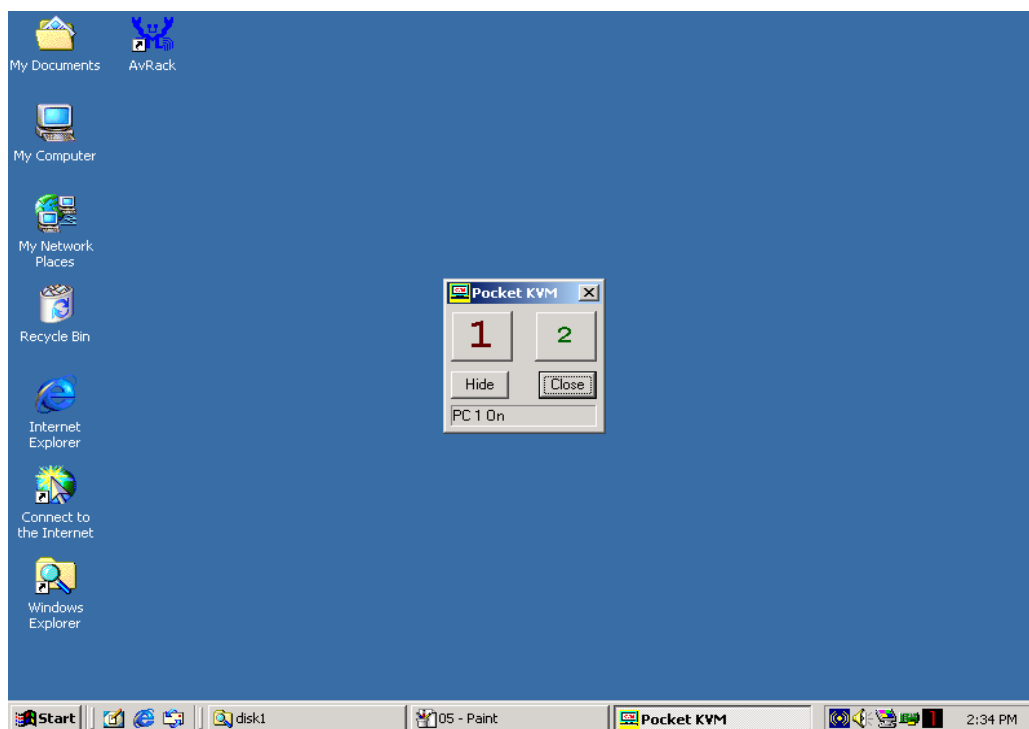
6. OSD プログラムを使用する

6.1 OSD プログラムをアクティブにする

- スタートメニュー -> プログラム -> Pocket KVM -> OSD から

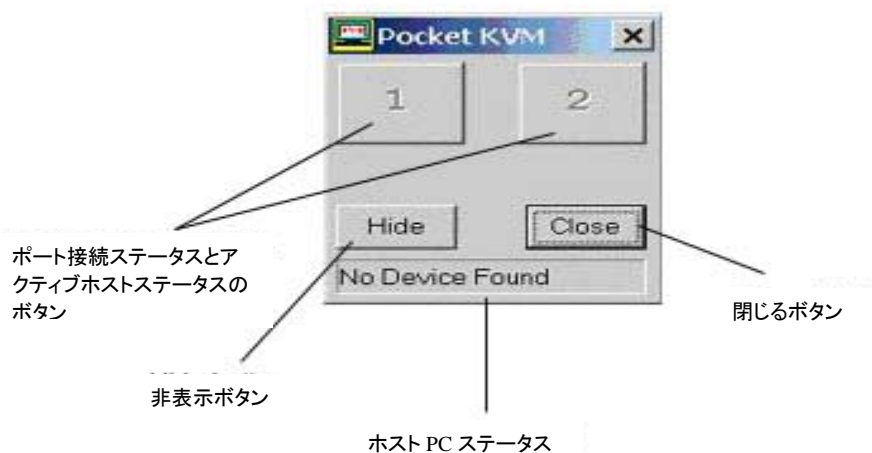


- OSD が実行されます



6.2 OSD ウィンドウを説明する

OSD は、接続、ホスト PC、USB デバイスのステータスを表示します。



4 つの異なるステータスがあります:

A. “PC が見つかりません” は、この PC が Pocket KVM に接続されていないこと、または接続されている PC がオフになっていることを意味します。



B. “PC 1 オン” は、第 1 ポートが PC に接続されていること、また PC がオンになっておりアクティブなホストがあることを意味します。第 2 ポートは PC に接続されていないか、PC は接続されているがオンになっていません。



C. “PC 2 オン” は、第 2 ポートが PC に接続されており、PC がオンでアクティブなホストがあることを意味します。第 1 ポートは PC に接続されていないか、オンになっていません。

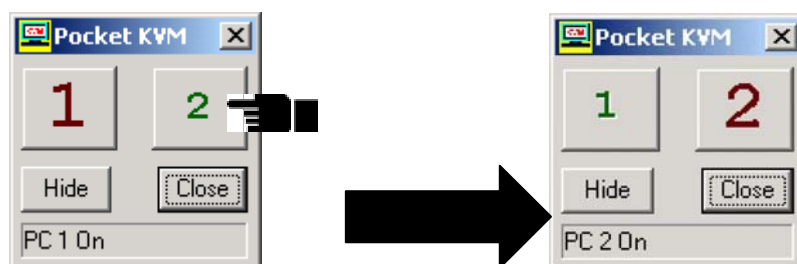


D. 両方のポートに 2 台の PC が接続されています。赤い文字と大きな数字は、第 2 ポートがアクティブなホストであることを示します。緑の文字と小さな数字は、第 1 ポートがアクティブなホストではないが、接続できることを示しています。

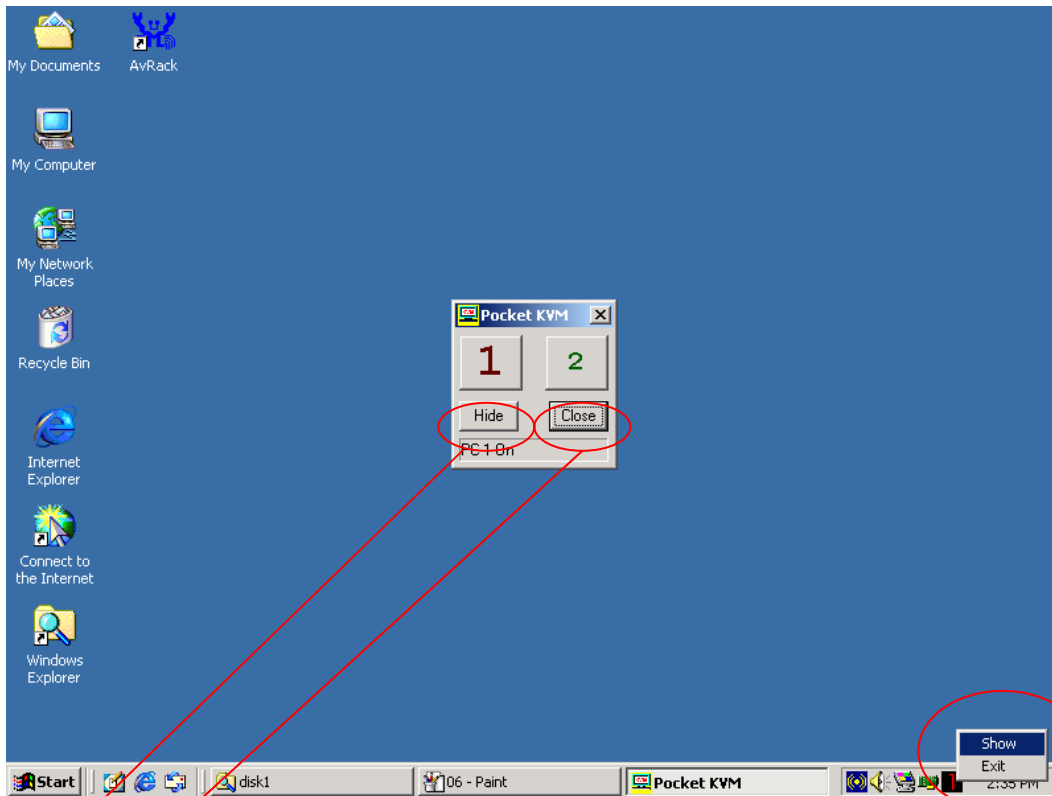


6.3 OSD プログラムを使用してアクティブなホストを切り替える

マウスを使用して、アクティブなホストにしたいポートのボタンをクリックします。プログラムはアクティブなホストを自動的に切り替え、ボタンの数字はそれに従って変化します。**注: アクティブなホストを接続されていないポートまたはオンになっていない PC に切り替えようとすると、誤警報が鳴ります。



6.4 OSD プログラムを非表示にして閉じる



- ユーザーが“非表示”ボタンをクリックすると、OSD プログラムウィンドウはタスクバーに隠れます。
- ユーザーが“閉じる”ボタンをクリックすると、OSD プログラムが終了します。
- OSD プログラムがタスクバーに隠れているとき、ユーザーはマウスの右ボタンを使用してプログラムを表示または終了することができます。

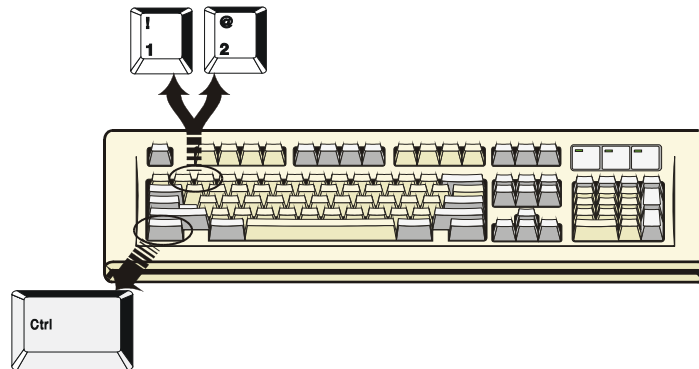
IV. 2ポート USB KVM スイッチを操作する

1. プッシュボタンによる手動切り替え

2ポート USB KVM スイッチのスイッチボタンを押すことによって、次の使用可能なアクティブ USB ホスト接続に切り替えることができます。

2. ホットキースイッチ(PS/2 キーボードのみ、USB キーボードでは使用できません)

[Ctrl]、[Ctrl]、[1]または
[Ctrl]、[Ctrl]、[2]



次の2ステップのホットキーシーケンスを使用して、PC 接続を切り替えることができます。コマンドを USB KVM スイッチに送信するには、[Ctrl]キーを2度押し(ステップ 1)、[1]または[2]を押して(ステップ 2)2 台の PC 間を切り替えます(数字パッド、キーボード、マウスで[1]または[2]を押すと、切り替わりません)。)

注: 2 ステップのホットキーシーケンスを使用しているとき、キーを押してから5秒以内に放す必要があります。5秒以上押していると、ホットキー動作は取り消されます。

3. オンスクリーンディスプレイ(OSD)スイッチ(Windows のみ)

OSD をアクティブにし、OSD のポート番号をクリックします。アクティブホストが指示されたポートに変わります。

4. 自動スキャン機能

USB KVM スイッチプッシュボタンを 3 秒間押し下げていると、AutoSan モードがアクティブになります。AutoSan モードがアクティブになっている間に USB KVM スイッチプッシュボタンを押すと、AutoScan モードがオフになり、モニタ画面はオリジナルのホストにジャンプして戻ります。

自動スキャンモードをアクティブにすると、USB KVM スイッチは 2 台の PC 間を行ったり来たりして、その PC をモニタ上に表示します。それぞれの PC は 5、10、15... 50 秒間表示されます。

自動スキャン間隔

[n] *(自動スキャン機能がオンになっているときのみ使用できます)

適切な数字キーまたは数字パッドのキーを押すことによって、自動スキャン間隔を変更できます。

n	Scan Interval
[1]	5 sec.
[2]	10 sec.
[3]	15 sec.
[4]	20sec.
[5]	25sec.
[6]	30sec.
[7]	35sec.
[8]	40sec.
[9]	45sec.
[0]	50sec.

V. アプリケーションノート

1. **重要:** ホストを切り替える前に、2 ポート USB KVM スイッチの 3 つのダウンストリーム USB ポートのどれかに接続されている USB デバイスに対し、「ハードウェアの取り外し」または「取り外し」を選択してください。ホストの切り替えは USB デバイスを取り外すのと同じことで、OS によって正しく取り外していなければ USB デバイスを損傷させることがあります。
2. 2 ポート USB KVM スイッチ は、通常ホストコンピュータから独自の電源を引き出します。2 ポート USB KVM スイッチとコンピュータの USB ポートが接続されているとき、LED が赤に変わり、キーボードとマウスを操作することができます。
3. **不明なデバイス:**
すべてのインストールプロセスを完了してもいくつかのデバイスが動作しない場合、マイコンピュータ/プロパティ/デバイスマネージャ/USB を順にクリックし、COM ポート、プリンタ、キーボード、マウス、ハブをチェックして、画面に“不明なデバイス”が表示されていないか調べてください。“削除”と“更新”を実行して、再びインストールプロセスを開始する必要があるかもしれません。上で触れたすべてのプロセスを試してもデバイスが動作しない場合、販売店にお問合せください。

免責条項

本書の内容は、将来予告なしに変更することがあります。メーカーは、本書に含まれる情報の精度や完全性に関して明示的または黙示的に保証または表明するものではなく、また特別損害、付随的損害、間接的損害、またはその他の損害を含む利益の遺失またはその他の商業的損害についても、いっさい責任を負わないものとします。

本書のいかなる部分も、メーカーの書面による事前の許可なしには、いかなる条件下でも、写真複写、録音または情報の録音および検索システムを含む電氣的または機械的な手段によっても、コピーまたは伝送を行うことができません。

本書で使用されているすべてのブランド名と製品名は、それぞれの所有者の商標、または登録商標です。

FCC 声明

本装置は、FCC 基準パート 15 に準ずる Class B のデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。これらの制限事項は、住宅地域で使用情况に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお勧めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。